



かけはし

飯豊町立第一小学校 学校だより 令和3年 2月16日

「飯豊がすき!」郷土愛を育む

校長 平田 史彦

立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。今年は昨年と違い、積雪も十分であり、手ノ子スキー場でのスキー教室や学校でのクロスカントリースキーと雪国、飯豊町ならではのウィンタースポーツに親しむことができ、子ども達も大喜びです。指導者、運搬にご協力をいただいた保護者、町スキークラブの皆様、ありがとうございました。



さて、1月下旬の総合的な学習の時間に、6年生が、飯豊町教育委員会の高橋拓氏より、「飯豊町の歴史」について、お話をいただきました。お話しいただいた主な内容は、飯豊町の地名の由来、国土の成り立ちや人類の誕生、飯豊町の縄文時代から現代までの変遷、萩生・中・黒沢各地区の代表的な旧跡、等です。専門的な中身もあり、90分間という小学生には少し長い時間でしたが、6年生は集中して学習することができました。特に、子ども達が、用紙にびっしりとメモをとりながら、食い入るように話を聞く姿には感心しました。これも、化石や土器などの実物に触れさせていただきながら、たくさんのスライドを使って、わかりやすくまたご自身の思いを込めてお話しいただいた高橋拓氏のおかげです。6年生にとって、「自分の生まれ育った飯豊町についての理解、さらには町への愛着や誇り」につながる貴重な時間となりました。お忙しい中、お話しいただいた高橋拓氏に心より感謝いたします。

本校では、経営の重点の一つに「郷土愛を育てる」を設定して、今年度も教育活動を展開してきました。上記もその一つの学習です。ただ、年度当初は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として教育活動に制限があり、校外学習や校外の多様な方と関わる学習ができない状態にありました。それでも、新しい生活様式を徹底して学習できるようになってからは、計画通りとはいきませんが、地域学校協働活動推進委員のコーディネートにより、米づくり



をはじめ、畑での栽培や収穫、町探検や町めぐり…と、たくさんの地域の皆様にご協力をいただき学習を行ってきました。今年度の学校評価では、児童は、郷土愛（飯豊は好きですか？）について98%が肯定的に答えています。地域の皆様には、お忙しい中、「本物」を学ぶ機会をつくっていただいたことに心より感謝いたします。来年度も、「郷土愛を育むこと」を大事にして教育活動を行っていくことを計画しております。皆様には、引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

